



男 女 各 季 年 を
考 へ ぬ べ き 心 づ け て 面 白 也

月刊水聲唱歌
水特撰樂譜

第六十六編

ゆ
く
春
(獨唱用)

主幹原田比古士良
成樂會編

ゆ く 春

犬童球溪作歌
Andante Con Spirito

〔小學校高學年獨唱用〕

成樂會編曲

ア ク モ カ ト ミ セ タ ル ミ ワ ネ ノ サ ク
あ の め ぞ か み に も え た る み わ な き こ

ラ ミ ユ キ ト ナ リ テ ハ ア ト モ ト メ
る む な し く き ゆ る か あ と も な く

ズ ハ ナ ト ハ ミ ル ベ シ ヤ キ ワ エ ズ ア レ
て ふ た た び く べ し や わ か き そ の

ド ク モ カ ト ミ セ タ ル ミ ワ ネ ノ サ ク
ひ の め ぞ か み に も え た る み わ な き こ

- 1、大特選樂譜〔第七十三編〕(會費月拾五錢) ○獨唱齊唱 ひばりの子
 - 2、小特選樂譜〔第六十六編〕(會費月拾五錢) ○高學年兒童獨唱 ゆく春
 - 3、鈴 蘭樂譜〔第四十八編〕(會費月拾錢) ○二部合唱 菜の花胡蝶
 - 4、三選樂譜〔第三十一編〕(會費月八錢) ○獨唱櫻三題 ○三部イマ ○二部ハルソナ
 - 5、童謡遊戯〔第二十七編〕(會費月拾五錢) ○尋三女兒向すめの子
 - 6、昭和樂譜〔第十三編〕(會費月拾錢) ○二部合唱 よしの山
- ◎雜誌 成樂〔第四十一號〕(會費月二十錢) ○御前演奏大曲ミサ解説 ○初等より文檢應用までの和聲作曲實際指導精義
- ◎入會自由照會はがき 團體更に大割引幹部優待・實物貝本御目につけたし

◆此頃の子供の唱歌 (會費送料共郵券代用申込可なり)

- 獨唱 櫻が散るよ (二部) 夢笛……………二二
- 童謡 蝶々のお家 (二部) 畫の月……………二二
- 童謡 つくしん坊……………二二
- 全 かもめ (二部) 子いぬ……………二二
- 全 水仙の花 (二部) 花壇の女王……………二二
- 齊唱 工場汽笛に……………二五
- 男兒齊唱 北條時宗……………二五
- 二部 春の小川……………二〇
- 童謡 兄弟雀……………二〇
- 獨唱 齊唱 想出の流れ……………二〇
- 二部 上下の白……………一五
- 齊唱 船……………一五
- 尋 一あゝ星ほし……………一五
- 尋 三女 仲よし……………一五
- 尋 三四 雨がへる……………一五
- 尋 三四 女 五月雨……………〇八
- 獨唱 齊唱 乃木將軍……………一〇
- 齊唱 廣瀬中佐……………一〇
- 全 行け海外……………一〇
- 二部 忠魂碑……………一〇

【品賣非】

昭和四年五月一日印刷
昭和四年五月五日發行
この月刊樂譜は毎月頭(三日月休刊)小
敷の頗る熱心裏面目の同好者に限り分
配するも、従つて賣品扱
ひや他に轉載謄寫の儀は絕對に御断り
致します。御希望の御方は直接成
樂會代表者に御力願ひます。
(團體特別扱ひ是非一度乞御照會)

編輯兼 成 樂 會
發行者 右代表者 原田彦四郎
振替名 古屋一〇二四八番
印刷所 樂譜印刷研究所
福岡市大學通り二丁目
右代表者 大橋利康

ゆく春

犬童球溪作歌

1
 嗚呼 雲かど見せたる 峯のさくら
 み雪ど散りては あともどめす
 花どは見るべき 消えずあれど
 雲かど見せたる 峯のさくら
 嗚呼嗚呼 夢か〜 花の命 花の命

2
 嗚呼 希望に燃えたる 若き心
 空しく消ゆるか あともなくて
 再び来べしや 青春き其日
 希望に燃えたる 若き心
 あゝあゝ 夢か〜 人の命 人の命

△引例資料

今日見ずは明日は雪ぞ降りなまし
 消えずはありとて花と見ましや(古今?)
 「青年重不來一日再難登」 (唐詩選?)